

## M3T-MR32R ご使用上のお願い

-- ランデヴ受付および呼び出し待ちタスクの待ち状態を  
irel\_waiシステムコールで待ち解除する場合の注意事項 --

M32Rファミリ用リアルタイムOS M3T-MR32Rの使用上の注意事項を連絡します。

- ランデヴ受付および呼び出し待ちタスクの待ち状態をirel\_waiシステムコールで待ち解除する場合の注意事項

### 1. 該当製品

M3T-MR32R V.3.00 Release 1 ~ M3T-MR32R V.3.50 Release 2

### 2. 内容

発生条件を満たす場合、以下のように動作することがあります。

#### (1) 発生条件(4-a)に該当する場合

以下の動作の結果、不定アドレスにメッセージを書き込むなどの現象が発生しアプリケーションが正常に動作しないことがあります。

- ランデヴ成立条件を満たしていても、ランデヴ非成立として処理される。
- 対象タスクと同一優先度でREADY状態のタスクがランデヴ成立とみなされランデヴ状態に移行する。

#### (2) 発生条件(4-b)に該当する場合

tcal\_por, pcal\_por, tacp\_por, pacp\_por, およびfwd\_porシステムコール処理が終わりません。

### 3. 発生条件

以下4点の条件をすべて満たす場合に発生することがあります。

#### (1) 以下のいずれかのシステムコールを発行する。

acp\_por, tacp\_por, pacp\_por, cal\_por, tcal\_por, pcal\_por, およびfwd\_por

- (2) (1)で示したシステムコールの対象ポートが以下の状態である。  
 acp\_por, tacp\_por, およびpacp\_porの場合、対象ポートにランデ  
 ヴ呼び出し待ちタスクが存在する。  
 cal\_por, tcal\_por, pcal\_por, およびfwd\_porの場合、対象ポート  
 にランデヴ受付待ちタスクが存在する。
- (3) (1)で示したシステムコール実行中に起動した割込ハンドラ内で  
 irel\_waiシステムコールを発行して(2)のいずれかのタスクを強制待  
 ち解除する。
- (4) (3)で発行したirel\_waiシステムコールの対象タスクの状態が次のい  
 ずれかに該当する。
- (a) ランデヴ受付、または呼び出し待ち状態である。
- (b) ランデヴ受付、または呼び出しの2重待ち状態である。

#### 4. 回避策

次のいずれかの方法で回避してください。

- (1) 該当するシステムコールの発行前後で割込禁止と割込許可を実施してください。

例

```

-----
void task(INT stacd)
{
    .....

    /*割込禁止処理*/
    asm(" mvfc    R0,PSW¥n"
        " and3    R0,R0,#0xFFBF¥n"
        " mvtc    R0,PSW¥n");

    ercd = acp_por(&rno,(VP)msg,&size,ID_por2,0x80);

    /*割込許可処理*/
    asm(" mvfc    R0,PSW¥n"
        " or3     R0,R0,#0x0040¥n"
        " mvtc    R0,PSW¥n");

    .....
}
-----

```

(2) 次の手順でタスクを強制待ち解除してください。

1. ista\_tskシステムコールを発行して、強制待ち解除するタスクを起動する。
2. 上記のタスクからrel\_waiシステムコールを発行する。

例

```
-----  
void handler(void)  
{  
  
    .....  
  
    /* irel_waiをコメントアウトして、ista_tskで強制待ち解除処理を  
       実施するタスクを起動します。  
       対象タスクIDは、起動コードとして渡します */  
  
    /* irel_wai( ID_task1 ); */  
    ista_tsk( ID_DoRelease,(INT)ID_task1 );  
  
    .....  
  
}  
  
void DoRelease(INT tskid)  
{  
    rel_wai(tskid);  
}  
-----
```

## 5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。